



根拠と事故防止からみた 老年看護技術

編：亀井智子／医学書院

定価：3,990 円(本体 3,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■コミュニケーションの取り方、移動、食事、排泄等日常ケアから急変時まで、高齢者看護に特徴的な技術を「基本技術」「日常生活援助技術」「身体ケア技術」「救急技術」の4章に分けて解説。事故防止の観点をもちつつ、アセスメント、援助、評価についての留意点・根拠を明示。幅広い看護場面を設定し、カラー写真やイラストを多用して展開される内容は、実習に出る学生、新人ナースに最適。

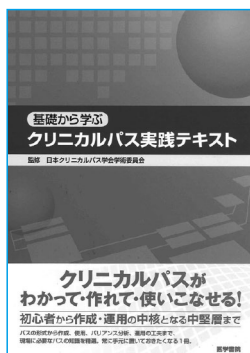
NANDA-I 看護診断

定義と分類 2012-2014

監訳：日本看護診断学会／医学書院

定価：3,150 円(本体 3,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■NANDA インターナショナルで承認された看護診断を収めたハンドブック。16のエビデンスレベルの基準を満たした新しい看護診断が追加され、11の看護診断が改訂されたほか、プロフェッショナルとしての基盤をつくるため、基礎教育における看護診断の教え方、電子カルテにおける活用の仕方についての解説もさらに充実。臨床でのレファレンスに、また看護診断の学習に役立つナース必携の書。



基礎から学ぶ

クリニカルパス実践テキスト

監修：日本クリニカルパス学会学術委員会／医学書院

定価：3,570 円(本体 3,400 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■クリニカルパスが日本に導入されて20年。多くの病院で定着したものの、それ故に、改めて学ぶ機会を失っているスタッフもいることが懸念される。本書は、パスを正しく使うことを目指して「パスの形式から作成、使用、バリエーション分析、運用の工夫まで、現場に必要なパスの知識を精選」(帯より)した。初心者から中堅層まで、使いこなすための1冊。テキストとしても活用できる。

腎不全看護 第4版

編：日本腎不全看護学会／医学書院

定価：4,410 円(本体 4,200 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■CKD(慢性腎臓病)の疾患概念に基づいた、病態の基礎知識や看護総論を第1部で解説。第2部では、患者理解と支援のための看護理論・看護モデルを紹介、個人により沿ったきめの細かい援助をガイドする。また、セルフマネジメントやフィジカルアセスメント、透析関連技術など実践的な内容も詳細に解説する。「透析療法指導看護師」認定試験の対応テキスト。腎不全看護の決定版。





“生活の場”の看護から導き出された！

在宅ケア リスクマネジメントマニュアル

編著：宮崎和加子／日本看護協会出版会

定価：2,940 円(本体 2,800 円＋税)／TEL：03-5778-5640

■本書の前身『在宅ケアにおけるリスクマネジメントマニュアル』刊行から 10 年、在宅看護の場の広がり、現状の変化に合わせて内容が刷新された。大きな特徴は 4 つ。リスクマネジメント用語の概念図による明確化、ヒヤリハットや事故のレベル分け、危険予知トレーニング在宅版の採用、そして、リスクマネジメントに生活の質・人生の質を支援する視点を取り入れた。高齢者ケアに携わるすべての人に。

「10 代を元気に生きる」ための“人生哲学”

①甘えてもだいじょうぶだよ

②せめぎあって 折り合って お互いさま

著：富田富士也／十月舎

定価：各 1,470 円(本体 1,400 円＋税)／TEL：03-5805-2530

■学校の養護教諭向け雑誌に 8 年にわたって連載された、子どもたちに向けたメッセージに、加筆・編集を加えた 3 巻シリーズの最初の 2 巻。人と触れ合うこと、傷つくこと、悩みをもつこと等々を通して心のバランスを保ち、人との距離の取り方を考え、自己肯定感を育むことの大切さを伝える。その厳しくもやさしい語りかけは、忙しく複雑な現代社会を生きる大人の心にも深く響く。



正木健雄先生の

子どものからだを科学する

著：正木健雄／合同出版

定価：1,575 円(本体 1,500 円＋税)／TEL：03-3294-3506

■こどもの健康、発育の研究第一人者が、1899(明治 32)年からの出生数等の統計、1964(昭和 39)年からの「体力・運動能力調査報告書」、そして毎年刊行の「子どものからだ心白書」等のデータを読み解く。日本の子どもの出生数、死産数、脳の発達、自律神経、体格、運動能力における発見と問題点を指摘し、マクロな視点から子どもの健やかな発達への問題解決の糸口を示唆、警鐘を鳴らす。

マンガでわかる

人体のしくみ

監修：坂井建雄／池田書店

定価：1,680 円(本体 1,600 円＋税)／TEL：03-3267-6821

■からだは「どの部分をとってきてもきわめて合理的にできていて、見事なほどに精密で、そのしくみの核心さえわかれば、限りなくおもしろい世界です」(「はじめに」より)。日常動作や体調といった身近な切り口から、解剖生理のすべてに迫る。高度な内容、学術書と同レベルの精密図解がわかりやすい解説文を得て、初学者にもハードルが低い。解剖生理が苦手でなくなる 1 冊。

